

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 排液バック 70308000

MMI ドレバッグ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

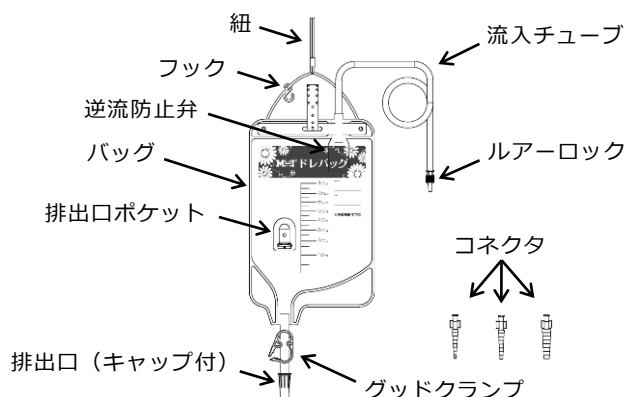
〈使用方法〉

再使用禁止、再滅菌禁止。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

代表例



2. 原理

ドレインチューブ、カテーテル等に接続し、自然落下により体外に除去された排液を貯留、排出する。

【使用目的又は効果】

ドレインチューブを接続するプラスチック製の排液バックである。腹腔ドレーンに接続し、腹腔から血液、膿状分泌物を除去するために用いる。

【使用方法等】

1. 使用方法

- 1) 本品を滅菌包装より無菌的に取り出す。
- 2) 排出口にキャップが装着され、排出口ポケットに収納されていることを確認し、グッドクランプを閉じる。
- 3) 流入チューブをドレインチューブ、カテーテル等に確実に接続する。必要に応じてコネクタをルアーロックに装着して接続する。
- 4) バッグを患部より低い位置になるように設置する。
- 5) 排液を排出する際は、排出口ポケットから排出口を取り出してキャップを外し、グッドクランプを開いて排出する。
- 6) 使用後は、ドレインチューブ、カテーテル等から取り外し、医療廃棄物として処分する。

2. 使用方法に関連する使用上の注意

- 1) 使用に際しては無菌的に取り扱い、すべての操作は汚染防止に十分な配慮をしたうえで行うこと。
- 2) 使用前に汚れ・破損・変形等がないか確認すること。
- 3) 本品の使用を開始する前、及び排液の排出後はグッドクランプが確実に閉じていることを確認すること。
- 4) グッドクランプの開閉操作は確実に行うこと。

- 5) 流入チューブのたわみに注意すること〔排液の詰まりが発生する可能性がある〕。
- 6) 使用中は縦に吊るした状態が保てるようにし、傾けたり、激しく動かしたりしないこと。また、紐がほどけたり、フックが外れないよう注意すること。
- 7) 逆流防止弁部分を折り曲げたり、物を重ねたりして逆流防止弁が閉じた状態にならないように設置すること。
- 8) チューブの引っ張り、ねじれ、折れ曲がり、身体の下敷きによる閉塞や圧迫がないように注意すること。
- 9) 接続部のゆりみ、液漏れ、詰まり、及び破損等がないことを定期的に確認すること。
- 10) 排液がバッグに貯留しているか定期的を確認すること〔逆流防止弁が固着してバッグへの流下が阻害されているおそれがある〕。
- 11) チューブ等に排液が詰まっていないか定期的を確認し、詰まっていた場合はミルキング等を行うこと。
- 12) 排液の状態及び量を定期的を確認し、最大容量に達した場合は排出口から排出すること。また、空気が流入してバッグが膨張している場合も、排出操作を行い排液及び空気を排出すること。
- 13) 排出口のキャップは廃棄せず、排液を排出するとき以外は排出口にキャップを付けて排出口ポケットに収納しておくこと。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 1) 胸腔部等の圧力差が必要な部位の排液の除去には使用しないこと。
- 2) 開封後は直ちに使用すること。いったん開封した場合は未使用であっても廃棄すること。
- 3) 患部より高い位置で使用しないこと〔チューブ内の排液が逆流する可能性がある〕。
- 4) 最大容量を超えて使用しないこと。〔排出がされずチューブ内の排液が逆流したり、接続部から漏れを引き起こしたりする可能性がある〕。
- 5) 外部から衝撃、過剰な力を加えないこと〔漏れの原因となる可能性がある〕。
- 6) 目盛りを読む際は目盛り線を水平に保つこと。また、本品の目盛りは目安のため、正確に計量する場合は適切な容器に移し替えること。
- 7) 使用後は感染防止に留意し、医療廃棄物として適切な方法で廃棄すること。

【保管方法及び有効期間等】

滅菌有効期間：3 年〔自己認証（当社データ）による〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：村中医療器 株式会社
TEL：0725-53-5546製造業者：パシフィック ホスピタル サプライ社
Pacific Hospital Supply Co., Ltd. 台湾